

(平成29年 3月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	3月の水産物の総入荷量は、前年同月と比べ鮮魚、加工水産物はほぼ前年並みの入荷となったが、冷凍魚の入荷量が上回り、全体で3%上回った。 総取扱金額は、前年同月と比べ、冷凍魚、加工水産物は上回ったものの、取扱比率が大きい鮮魚が前年並みとなったため、全体では前年並みとなった。
(区分別の動向) 生 鮮 魚	3月の鮮魚の入荷量、平均単価は前年同月並みであった。 品目別には、よこわ、まあじは、入荷量が前年同期を下回ったため平均単価は値上がりしたが、さわら、まいわしは、入荷量が前年同期を上回ったため、価格は値下がりした。 4月は、まだい、さわらが旬となり、漁獲量も増え、年間を通しておいしい時期となる。煮つけ、焼き物、刺身等で旬の魚を堪能していただきたい。
冷 凍 魚	3月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ24%上回り、平均単価は13%下回った。 品目別には、冷えびや冷まいわしは、入荷量が前年同期を上回ったことから、平均単価は値下がりした。 4月の冷凍魚は、海外での需要も落ち着きが見られることから、輸入物を中心に値下がることが予想される。
加 工 水 産 物	3月の加工水産物の入荷量は、前年同月並みであり、平均単価は3%上回った。 品目別には、ちりめん、なまぶしは入荷が減少したため、平均単価は値上がりした。 4月は、ちりめんやほたるいかの漁が本格となり、品質の良いものも多く水揚げされることから、この時期に是非召し上がっていただきたい。

※生鮮魚：鮮魚、貝類、淡水魚

※冷凍魚：冷凍魚（鯨肉を除く）

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	主に長崎，和歌山で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月と比べ２４％下回り，価格は１３％上回った。
ま い わ し	主に京都，三重で水揚げされたものの入荷で，日本海での好調な水揚げにより，入荷量は前年同月と比べ５０％上回ったが，価格は，大型主体の入荷であったことから前年同月並みであった。
さ ば	主に千葉，静岡で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月並みであったが，中小型中心の入荷であったことから，価格は１２％下回った。
す る め い か	主に富山，長崎で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月と比べ１０％下回ったが，小型中心の入荷であったことから，価格は前年同月並みであった。
太 物	入荷量は前年同月と比べ，めばちまぐろは２１％下回ったが，きはだまぐろは８％上回り，太物類の総入荷量，価格は前年同月並みであった。
び ん ち ょ う	主に鹿児島，宮崎で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月と比べ４８％上回り，価格は３％下回った。
ひ ら め	主に長崎，韓国で水揚げされたものの入荷で，入荷量は前年同月と比べ２３％上回り，価格は１１％下回った。
(冷凍魚主要品目)	

冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ１３％上回ったが，大型の水揚げ減少による製品の値上がりが影響し，価格は２％上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月と比べ６６％上回り，価格は３５％下回った。
(加工水産物主要品目)	
ち り め ん	入荷量は前年同月と比べ１６％下回るとともに，良品物の需要が集中したことから価格は７７％上回った。
な ま ぶ し	入荷量は前年同月と比べ４％下回ったため，価格は４％上回った。